

CONTENTS

Preface

The Age of Disaster Response Robots
Satoshi TADOKORO (Tohoku Univ.)

Special Features

Human Centered Design

- 2 0. Foreword
Shin'ichi FUKUZUMI (NEC Corp.)
- 4 1. Why Are Information Systems Developed without Considering the Usability?
Jun IIO and Hiroyuki SHIMIZU (Mitsubishi Research Institute, Inc.)
- 10 2. Standardization Trend - Process Standard ISO 9241-210 and Its Related Standards -
Shin'ichi FUKUZUMI and Yukiko TANIKAWA (NEC Corp.)
- 15 3. To Improve Usability of Systems Efficiently in a System Development Process - Process Support Environment for System Engineers -
Yukiko TANIKAWA and Shin'ichi FUKUZUMI (NEC Corp.)
- 21 4. Improvement of Systems Development Efficiency and Design Quality - Effective Practice of HCD by Screen Template Use -
Hideo ZEMPO (Fujitsu Design Ltd.)
- 26 5. User Experience Design Practice
Ryoji YOSHITAKE and Eiki SHIBATA (IBM Japan)
- 32 6. Universal Design
Kenji IDO (Toshiba Corp.)
- 36 7. The Medical Information System
Masaki TAKANO (Hitachi, Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

- 43 Activities of "ipSj kaiin-no chikara-wo Shakai-nitunageRu" Study Group
Masato TERADA (Hitachi, Ltd.)
- 44 Will a "Study on Information 'Processing'" Work Out?
Toshibumi KARIYADO (Aoyama Gakuin Univ.)
- 47 An Introductory Computer Science Course on Using Computer Games as Learning Materials
Hiroyuki NAGATAKI (Okayama Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 51 Do You Know What the Science Council of Japan is?
Norihsa DOI

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

- 52 Oral History : Interview with Mr. Yamamoto Takuma
Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Osamu UDA (Nihon Univ.), Chigusa KITA (Kansai Univ.), Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.), Toshio MATSUNAGA (Tokyo Univ. of Technology) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

Column : Professor IT Teaches IT in Egypt

- 58 How is E-JUST Evolving?
Ikuo TAKEUCHI (Waseda Univ.)

61 Mourning



おひいすらん



情報処理学会では、今後の会員向けサービス向上の参考とするために2012年9月に会員満足度調査を行いました。メールアドレスを登録いただいている約17,000人の会員を対象にメールでアンケートを依頼しました。5.1%、864人の方々から回答をいただきました。その内容のごく一部を紹介します(後ほどWeb上にて詳しくご報告する予定です)。

図1が学会の諸活動に対する会員の皆様の満足度です。やや満足を含め満足と回答した人が79%、やや不満・不満は22%です。自由記述の内容を見ると学会誌「情報処理」や論文誌、研究会活動に対する満足度が高い一方で、産業界や現場の技術者向けの活動の不足、タイムリーな情報発信、電子図書館の使い勝手などが不十分との意見をいただきました。

図2は学会の活動ごとの満足度です。学会の活動に積極的に参加しているアクティブ会員とそれ以外の会員で活動ごとに満足度に違いがあることも分かってきました。

情報処理学会は会員の皆様の声に応じて、より魅力ある学会を目指してまいります。ご協力ありがとうございました。

しもつま
(下間芳樹/事務局長)

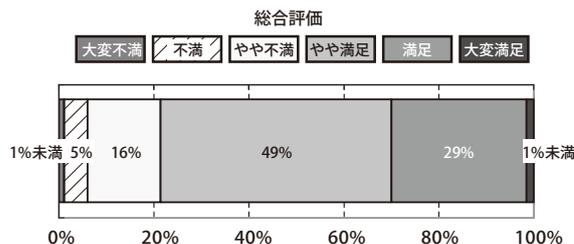


図1 会員満足度

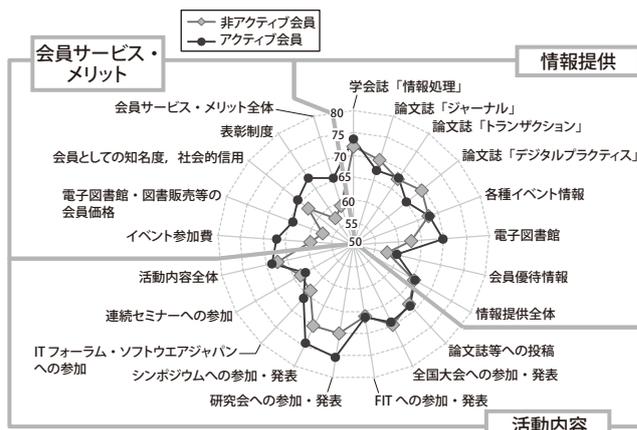


図2 活動ごとの満足度

電子図書館「BookPark」のサービス終了について

現在、電子図書館は「情報学広場」と「BookPark」の2つを運用しておりますが、2013年3月末をもちまして「BookPark」のサービスを終了し、「情報学広場」に統合いたします。

「BookPark」のみご利用中の個人会員、準登録（個人）の皆様は、「情報学広場」へのユーザ登録をお願いいたします。「情報学広場」に未登録の方には、毎月1回、次の件名でご案内メールを送信しておりますので、ご案内メール文中のURLからお手続きください。

メールの件名：[情報学広場：情報処理学会電子図書館] ユーザ登録のご案内

詳しくは次のURLをご確認ください。

■電子図書館「BookPark」のサービス終了予定について

http://www.ipsj.or.jp/topics/oshirase_bookpark201211.html



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.53 No.12 (Dec. 2012)

【特集：組み込みシステム工学】

- 特集「組み込みシステム工学」の編集にあたって 中本幸一
- Qualitative Comparison of ADL-Based Approaches to Real-World Automotive System Development Shinichi Shiraiishi 他
- 組み込みソフトウェアの動的振舞によるシステム性能の評価手法 坂本佳史 他
- Minimization of FlexRay Bus Bandwidth for Hard Real-Time Applications Makoto Sugihara 他
- Simulink モデルと UML モデルを用いた組み込み制御ソフトウェア開発のためのモデル変換環境 田村雅成 他
- 確率線形ハイブリッドオートマトンの到達可能性検証 畠中克也 他
- μ ITRON ベースのマルチプロセッサ向け RTOS のテスト 鳴原一人 他
- Online Kernel Log Analysis for Robotics Application Midori Sugaya 他
- 位置透過性のあるシステムコールを有する組み込み制御システム向け分散リアルタイム OS 知場貴洋 他
- イベント駆動ネットワークから時間駆動ネットワークへの移行を容易にする自動車制御システム向けリアルタイムゲートウェイ 石郷岡祐 他
- Responsive Link を用いた分散リアルタイムシステム向け高信頼な通信機構の設計と実装 水頭一壽 他
- Android における Java アプリケーションの FPGA アクセラレーション 小池恵介 他

【一般論文】

- Chord# における経路表の維持管理コスト削減手法の提案とその評価* 吳 承彦 他
- 類語提示機能を備えた翻訳リペアシステムにおける WebN グラムの活用* 市村 哲 他
- Vuzik：子どもの創造的音楽表現のための全身を使ったインタラクションシステム 市野順子 他
- 聞き役対話の分析及び分析に基づいた対話制御部の構築 目黒豊美 他
- データ再配置機構を備えた BSP モデルに基づくデータ並列ミドルウェア 伊藤昭博
- グラフ縮約にもとづく SPARQL クエリ並列化方法の設計および予備評価 千代英一郎 他
- RDF データ検索のためのクエリグラフのクラスタリング手法 飯塚京士 他
- 表層的特徴とテキスト特徴に基づくオンラインディスクッションの健全度定量化手法 武吉朋也 他
- 情報システム開発の成否に影響を与える組織文化の要因の研究 河村智行 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Dec. 2012)

【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.2 No.3】

- OMCS のシステムモデルによるプラットフォーム構築 相澤正俊 他
- スマートハウスの「いじれる化」を実現するための Kadecot プロジェクト概要 大和田茂
- 正確な情報共有のための多言語用例対訳共有システム 福島 拓 他
- ホームネットワークマップ特定プロトコル HTIP の設計と診断ツールへの適用 美原義行 他

- TV 視聴によりライフログ情報の検索表示を可能とするマルチスクリーン連携技術 茂木 学 他
- 行動履歴と嗜好に基づくグループ向けコンテンツ推薦手法の提案 瀬古俊一 他

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.4】

- Real-time Video Mosaicing using Non-rigid Registration Rafael Henrique Castanheira de Souza 他

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、10月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「新しい社会に向けた産みの苦しみ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■内容的に1ページで十分であり、代わりに、「研究会推薦博士論文速報」に2ページ以上を割り当てるほうが有意義と思いました。(匿名希望)

特集「コンシューマが切り拓くデジタル化社会の新しい潮流」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「クルマの車両本体（機械工学の産物）は寿命が10年以上あるが、カーナビなど情報工学の産物は数年で陳腐化してしまう」旨の記述が良かった。クルマの電子装備の本質や、情報工学分野の進歩の早さを、具体的かつ分かりやすい表現で的確に述べている点に感服いたしました。(大塚敬義)

■興味深く、かつ分かりやすい記事であったが、もう少し記事数を減らして1記事当たりのページ数を増やし深掘してもらおう方が良かった。また、特集の記事間の連携がもっとあれば良かった。(五味 弘)

■焦点が絞りが切れていなかったように思います。巻頭コラムを拝見して刺激を受けましたが、期待したようには特集とつながらず残念でした。(匿名希望)

■個々の記事はあまり深くないので、単発の解説としては物足りなかった。(匿名希望)

■「グリーンICTによるスマートな社会の創出」のEoDについての説明では、うまく制御して最適化していけば省電力化でき、電気代も節約できるのは面白いと思った。電気代の課金に着目した目標値の設定や課金額の推定による制御などの内容も具体的に出てくるとさらに面白くなると思った。(永津貴大)

■興味深く読みました。これからの、ITの主流になると考えます。(宮崎裕充)

■特集の内容は、さまざまな取り組みを把握するうえで有用に思いますが、若干情報が古いような印象を受けました。(匿名希望)

小特集「航空管制におけるIT」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■航空管制の仕組みが分かりやすく説明されており理解しやすかった。(匿名希望)

■航空レーダの画面を見たのは初めてだったため勉強になったが、表示される情報は意外にシンプルな内容だけになっていて驚いた。(永津貴大)

■テレビで航空管制のシーンを時々見かけ、管制官は大変だなあという感想しか持っていなかったが、この小特集で、おまかにどのような技術が使用されているのかを知ることができて大変良かった。(匿名希望)

■詳細な個々の作業を知らないのではどのような業務がIT化され、効果が現れているのかが理解できなかった。設備を含めた国際標準化や統一規格の制定方法など海外との調整方法について少し触れてほしかった。(匿名希望)

■興味深く拝見しました。特集全体としての意図が若干分かりにくいと感じましたが、基本的な説明もあってなじみのない分野ながら知的好奇心を掻き立てられました。(梅川通久)

■普段あまり知る機会がない分野だけに、知的好奇心をかきたてられた。今後もぜひ、こうしたトピックを扱っていただきたい。(匿名希望)

■飛行機を利用することはあっても、その制御に関して深く考える機会がなかったため、特に興味深く読ませていただきました。(匿名希望)

■ITの必要性は伝えられたと思う。しかし、困難な点や導入時の苦労なども知りたかった。特に、管制業務は遅延がどの程度なら許されるのか、また、混信などの対処の問題はないのか等、現実に存在する処理としての実情も知りたかった(読み落としただけかもしれませんが)。(匿名希望)

■航空管制におけるITも興味はありましたが、今回は、業務概要、ルールを一般的に説明されている段階と理解しました。(宮崎裕充)

教育コーナー「べた語義：ティーチング・ポートフォリオとラーニング・ポートフォリオ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■TP、LPという概念を初めて知った。医療系にも積極的に導入すべきだと思った。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：PSP/TSPによる実践的なICT人材育成の取り組み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■PSP/TSPについて特に新たな工夫や知見が述べられていないことが残念でした。表面的な欠陥密度や生産性によってプログラミング・ソフトウェア開発能力を真に捉えられているのかどうか、PSP/TSPにより向上させられているのかどうかについて、他の手法やプロセスと対比させた考察があるとありがたいです。(匿名希望)

連載「古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー：中澤喜三郎氏インタビュー」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■開拓者が四苦八苦して乗り越えた姿に勇気づけられた。
(匿名希望)

■2006年のインタビューと内容が古く、経験談に終始しているように感じる。
(匿名希望)

コラム「IT先生、エジプトでITを教える：エジプトにITC（知的交通制御）？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■竹内郁雄先生の巧みな文章は読んでみたい気がするが、2ページにわたってびっしり書いてあるので、全部読むとするエネルギーが湧いてこない。たとえば10数行ごとに注意を引きつけるような小見出しをつけて節に分割してはどうだろうか。そうすると、気になる小見出しの節をちょっと読んでみようという気になり、ついでに次も、...と気がつくこと全部を読んでいたということになると思う。
(金谷健一)

■竹内先生の記事を読むのを楽しみにしています。エジプトの国民性などが分かって楽しいです。
(匿名希望)

■タイトルにあるITCについての記述が少なかった。
(匿名希望)

トピックス「研究会推薦博士論文速報」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■Webに詳細があるとはいえ、推薦文だけでも誌面に掲載していただきたいところでした。せっかくの企画がもったい

ない。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■編集の仕方に工夫が欲しい。読みにくい上、1冊の中の内容が同じようなので、面白くない月はとことん面白くない。いろいろな情報が1冊の中にあってほしい。
(内田真利子)

■今回の航空管制のITなど、あまり知らない分野のIT活用についての特集は面白いので、いろいろな分野の特集をやしてほしい。
(匿名希望)

■ルンバなどの智能化家電やソニー社のAIBOなどの人工知能付き愛玩犬(?)のような古い製品にまで遡って言及する記事を拝読したく存じます。
(大塚敬義)

■移動体(船舶、衛星、列車など)の航行・運行に関するテーマを希望します。
(匿名希望)

■今後取り上げてほしいテーマ：クラウドサービスに対する展望。
(西尾建男)



【本欄担当 久保 健, 古宮嘉那子 / 書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
12月15日(土)～	第26回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	10月26日(金)	定員になり次第	東京都八丈島
12月16日(日)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec26.html			
12月15日(土)～	ネットワーク生態学研究グループ 第9回シンポジウム	11月26日(月)	定員になり次第	沖縄国際大学
12月16日(日)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
12月20日(木)	災害コミュニケーションシンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-spt2012.html			東京理科大学
12月20日(木)～	第94回音声言語情報処理研究発表会	10月18日(木)	当日のみ	東京工業大学
12月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp94.html			大岡山キャンパス
12月21日(金)～	第97回音楽情報科学研究発表会		当日のみ	東京電機大学
12月23日(日)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus97.html			千住キャンパス
2013年				
	デジタルプラクティス「利用されるクラウドコンピューティング」 特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0404s.html	2月5日(火)		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(木)		
	論文誌「教育とコンピュータ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-CE.html	3月18日(月)		
	論文誌「社会活動に協調する技術とネットワークサービス」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-GN.htm	4月1日(月)		
1月11日(金)～	第109回情報基礎とアクセス技術・	11月20日(火)	当日のみ	宮崎 JA-AZM ホール
1月12日(土)	第210回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat109nl210.html			
1月11日(金)～	第54回プログラミング・シンポジウム			ラフォーレ強羅
1月13日(日)	http://www.ipsj.or.jp/prosym/			
1月15日(火)～	2013年ハイパフォーマンスコンピューティングと	9月28日(金)		東京工業大学
1月16日(水)	計算科学シンポジウム (HPCS2013) http://hpcs.hpcc.jp/			蔵前会館
1月15日(火)～	第92回プログラミング研究発表会	11月12日(月)	当日のみ	AiAiひろば
1月16日(水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro92.html			
1月16日(水)～	第159回システムLSI設計技術研究発表会	11月2日(金)	当日のみ	慶應義塾大学
1月17日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm159.html			日吉キャンパス
1月16日(水)～	第86回グループウェアとネットワークサービス・	11月16日(金)	当日のみ	名桜大学
1月17日(木)	第6回コンシューマ・デバイス&システム合研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn86cnds6.html			(沖縄県名護市)
1月18日(金)	第88回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd88.html	11月22日(木)	当日のみ	NTT 武蔵野研究開発 センター プレゼンテー ションホール
1月21日(月)～	第3回デジタルコンテンツクリエーション研究発表会	11月28日(水)	当日のみ	多摩美術大学
1月22日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dcc3.html			八王子キャンパス
1月23日(水)～	第185回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会		当日のみ	京都大学
1月24日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim185.html			吉田キャンパス
1月25日(金)	第97回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch97.html	11月22日(木)	当日のみ	東京大学
1月31日(木)～	第195回計算機アーキテクチャ研究発表会	11月13日(火)	当日のみ	史料編纂所
2月1日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc195.html			早稲田大学グリーン・ コンピューティング・シ ステム研究開発センター
2月1日(金)～	第151回ヒューマンコンピュータインタラクション・		当日のみ	ニューウェルシティ
2月2日(土)	第95回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci151slp95.html			湯河原
2月15日(金)	ソフトウェアジャパン2013「ビッグデータの潮流を探る」 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2013/index.html		2月8日(金) 定員になり次第	一橋大学 一橋講堂会議室・ 学術総合センター NII
2月18日(月)～	第150回グラフィクスとCAD研究発表会	11月30日(金)	当日のみ	東京大学柏図書館
2月19日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg150.html			メディアホール
2月21日(木)～	第138回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会			芦原温泉清風荘
2月22日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc138.html			
2月21日(木)～	第80回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	12月17日(月)	当日のみ	津田塾大学
2月22日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm80.html			小平キャンパス
2月27日(水)～	第92回数理モデル化と問題解決研究発表会		当日のみ	武雄温泉
2月28日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps92.html			
2月28日(木)～	インタラクション2013 http://www.interaction-ipsj.org/2013/index.html			日本科学未来館
3月2日(土)				
3月6日(水)～	情報処理学会 第75回全国大会			東北大学
3月8日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/			川内キャンパス
3月11日(月)～	第179回ソフトウェア工学研究発表会		当日のみ	化学会館会議室
3月12日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se179.html			
3月13日(水)～	第160回システムLSI設計技術・	1月14日(月)	当日のみ	対馬市交流センター
3月14日(木)	第28回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2013) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm160emb28.html			

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月14日(木)～ 3月15日(金)	第154回マルチメディア通信と分散処理・ 第60回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps154csec60.html	1月11日(金)	当日のみ	東京電機大学 千住キャンパス
3月22日(金)	第40回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eva40.html	1月13日(日)	当日のみ	日立製作所 横浜研究所
5月11日(土)～ 5月12日(日)	第99回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus99.html		当日のみ	お茶の水女子大学
8月31日(土)～ 9月2日(月)	第100回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus100.html		当日のみ	東京都内
9月4日(水)～ 9月6日(金)	FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/			鳥取大学 鳥取キャンパス



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 11月15日 人材募集情報 (Vol.53 No.12)
- 11月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.53 No.12)
- 11月12日 PRMS を Ver.7.1 (20121108) にバージョンアップしました
- 11月09日 査読のための論文査読管理システム (PRMS) 手引きを更新しました
- 11月05日 電子図書館「BookPark」のサービス終了予定について
- 11月05日 デジタルプラクティス「利用されるクラウドコンピューティング」特集論文募集
- 10月29日 LaTeX 用ファイルを更新しました

2013 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 「情報処理」および「デジタルプラクティス」巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。

- ・記事に対する評価
- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・そのほか全般的な意見・提案など

注) 記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間 (2013 年 4 月～2014 年 3 月)。*最長 3 年までとします。

対 象 号 会誌「情報処理」54 巻 5 号～55 巻 4 号、および年に 4 回発行される「デジタルプラクティス」

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 2013 年 2 月 22 日 (金) 必着 *申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

2013 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先: 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など) (e) 学生 (f) その他

職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など) (i) 学生 (j) その他

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■東京大学大学院工学系研究科

募集人員 特任准教授または特任講師 2名

担当分野 社会連携講座「省エネルギー情報処理のための次世代ナノ・マイクロデバイスとシステム」

職務内容 社会連携講座「省エネルギー情報処理のための次世代ナノ・マイクロデバイスとシステム」は, 世界的な課題である省エネルギー化, 循環型社会構築などの問題解決のため, ナノ・マイクロデバイス工学を活用して, 省エネルギー情報処理に関する基礎研究を行うとともに, 同分野と関連分野における大学院学生の教育と国際的な若手人材の育成を目的として, 日本アイ・ビー・エム (株) と共同して開設したものであり, 新しい動作原理にもとづく論理デバイスを考案, 論理演算あたりのエネルギー効率を著しく引き上げるとともに, アプリケーションならびにシステムの視点から素子間・演算ユニット間を効率的に結合するための技術革新のための研究・教育を行う。募集する特任教員2名は, 下記の2分野のうち少なくとも一方を担当する
(1) 知的判断を行うアルゴリズム・システムの観点から, 演算素子間を効率的に結合する技術の研究
(2) 新たな動作原理にもとづく次世代低消費電力デバイスの研究

応募資格 対象分野の博士の学位を有し, 職務内容にふさわしい研究・教育に経験を有し, 高い意欲を持つ方

着任時期 決定後, できる限り早い時期

提出書類 以下の書類を下記の順に1つのPDFファイルにまとめ, 書類提出先に送付のこと

(1) 履歴書 (書式は http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html からダウンロードしたものによること), (2) これまでの研究業績の概要 (A4用紙3枚程度), (3) 研究業績リスト (査読論文とそれ以外の総説, 著書などに分けて記載のこと), (4) 主要原著論文コピー (5編以内), (5) 今後の研究および教育の抱負 (A4用紙1枚), (6) 応募者に関する所見を伺える有識者2名の氏名と連絡先

応募締切 2012年12月19日

送付先 東京大学大学院工学系研究科国際工学教育推進機構 学際共同教育研究センター長 水野哲孝

E-mail: tmizuno@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

照会先 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 近山 隆

E-mail: chikayama@logos.t.u-tokyo.ac.jp Tel(03)5841-6658

その他 任期は着任後3年間。契約の更新は評価に基づき行うことがある

■筑波大学システム情報系（システム情報工学研究科）

- 募集人員 准教授または助教 2名
 所 属 コンピュータサイエンス専攻
 専門分野 情報工学・情報科学のいずれかの専門分野。特に、ビジネスアプリケーション分野に関係する技術分野が望ましい（たとえば、ソフトウェア工学、データベース、Webコンピューティング、データマイニング、ヒューマンインタフェース、モバイルコンピューティング、組み込みソフト、クラウド基盤、等）
 担当職務 システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻では、文部科学省「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」（平成24～28年度予定）を推進している。同事業にかかわる教育、事業推進業務、ならびにその基盤となる研究を担当。情報学群情報科学類における関連教育も一部担当。「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」についてはWebページ（http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/itjinzai/1325054.htm）をご覧ください
 応募資格 博士の学位（着任時期までに取得見込みも可）を有し、専門分野において研究業績があり、担当職務を意欲的に担当できる方
 着任時期 決定後できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書（連絡先とE-mailアドレスを明記）、専門分野を表すキーワード（3～5個）、教育・研究等の実績（1500字程度。下記の主要論文を適宜参照すること）、研究業績リスト（学術論文、査読付き国際会議論文、著書、解説、その他の研究発表、特許、受賞、外部資金獲得実績等に分類したリスト。論文等の共著者名はすべて記入）、主要論文別刷（5編以内、コピー可。研究業績リスト中で当該論文にマークをすること）、教育・研究に対する抱負と自己アピール（1500字程度）、意見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先、希望職位（准教授希望、助教希望、准教授または助教希望、のいずれか）
 応募締切 2012年12月21日（必着）
 送付先/照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻長 北川博之 E-mail: kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp Tel:(029)853-5522
 そ の 他 任用期限は年度ごとに契約を更新。最長、文部科学省「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」終了時（2017年3月31日予定）まで。詳細はWebページ（http://www.cs.tsukuba.ac.jp/koubo/CS_koubo_201212.pdf）をご覧ください

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

- 募集人員 助教 1名（任期付き）
 所 属 人工知能領域
 専門分野および関連する主な職務 研究：ゲーム情報学に関する研究、ゲーム木探索、機械学習、強化学習、推論、最適化、進化計算等の基礎理論と、囲碁をはじめとするゲームへの応用に関する研究、ゲームAIのエンタテインメント性や教育性に関する研究
 教育：博士前期・後期課程学生の指導の分担。人工知能領域と関連する導入講義の一部を担当
 応募資格 採用時に博士の学位を有する方。学生の指導に熱意を有し、国際性や学際性に富む競争力のある先端研究を推進する方。他研究者と連携し、共同研究を推進する方。日本語、英語を使つてのグローバルコミュニケーション能力のある方
 着任時期 2013年4月1日
 提出書類 履歴書および学位証明書の写し、研究業績リスト（国際論文誌、査読付き国際会議、国内論文誌、研究会・国内シンポジウム等の発表論文、著書、特許、その他に区別し、新しいものから順番に列記）、主要論文別刷（3編、コピー可）、主たる研究概要^{*}、研究、教育に関連するその他の活動（学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献や標準化等の社会貢献など。また、受賞、研究費調達状況など選考の参考になる事項、過去に担当した講義等）、今後5年間の研究計画^{*}、教育に対する抱負^{*}、応募者本人の連絡先（郵便宛先とE-mailアドレス）、推薦書2通、または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先（E-mailアドレス）
^{*}はいずれも2000字程度
 応募締切 2013年1月4日（必着）
 送付先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科長 浅野哲夫
 「教員応募書類在中（人工知能領域・助教）」と朱書き簡易書留 ※E-mailより提出された書類は受け付けません
 照会先 情報科学研究科担当（共通事務管理課共通事務第二係） E-mail: is-dean@jaist.ac.jp
 Tel:(0761)51-1155（研究科長秘書） Fax:(0761)51-1149
 そ の 他 本学では、教員の選考に際して機会均等、多様性が重要と考え、女性や外国人の採用を積極的に進めています

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部・研究科

募集人員	准教授または講師 1名
所 属	メディアシステム領域
専門分野	コンピュータネットワーク、メディア通信システム、セキュアコミュニケーション、トラスト、メディアシステム等に関連する教育研究分野
担当科目	学部・大学院の「メディアシステム関連科目」、ならびに講座内の演習指導および修論・博論指導。なお、教職関連科目も担当できることが望ましい
応募資格	以下の条件を満たす方 ①上記の専門分野において博士の学位を有する方、または着任までに学位取得見込みの方 ②大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導に当たれる方
着任時期	2013年4月1日(4月以降であれば可能な限り早い時期)
提出書類	①履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む)、②研究業績リスト(著書、学位論文、学術論文、国際学会発表論文等に分類)、③学位論文(コピー可)、④主要著書・学術論文別刷(コピー可)と学位取得証明書、⑤教育または職歴に関する業績および教育に関する見解(1000字程度)、⑥参考となる意見を伺える方2名からの推薦状と連絡先
応募締切	2013年1月24日(必着)
送 付 先	〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 「メディアシステム領域教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照 会 先	ソフトウェア情報学部事務室 E-mail: soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500 (ダイヤルイン)
そ の 他	選考にあたっては書類・業績審査後、面接を実施し決定します。選考結果は応募者ご本人に通知します

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部・研究科

募集人員	講師 1名
所 属	基盤情報システム領域
専門分野	ワイヤレスネットワーク、モバイルネットワーク、センサネットワーク、VANET、ネットワークセキュリティ、Webシステム、セマンティックWeb、分散データベース、分散処理、高信頼性システム等の教育研究分野
担当科目	学部・大学院の「基盤情報システム関連科目」、ならびに講座内の演習指導および修論・博論指導。なお、教職関連科目も担当できることが望ましい
応募資格	以下の条件を満たす方 ①上記の専門分野において博士の学位を有する方、または着任までに学位取得見込みの方 ②大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導に当たれる方
着任時期	2013年4月1日(可能な限り早い時期)
提出書類	①履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む)、②研究業績リスト(著書、学位論文、学術論文、国際学会発表論文等に分類)、③学位論文(コピー可)、④主要著書・学術論文別刷(コピー可)と学位取得証明書、⑤教育または職歴に関する業績および教育に関する見解(1000字程度)、⑥参考となる意見を伺える方2名からの推薦状と連絡先
応募締切	2013年1月24日(必着)
送 付 先	〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 「基盤情報システム領域教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照 会 先	ソフトウェア情報学部事務室 E-mail: soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500 (ダイヤルイン)
そ の 他	選考にあたっては書類・業績審査後、面接を実施し決定します。選考結果は応募者ご本人に通知します

ソフトウェアジャパン 2013 開催のご案内

『ビッグデータの潮流を探る』

<http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2013/>

開催日時：2013年2月15日(金) 9:30-18:30 [開場/受付開始 9:00~]

開催会場：一橋大学 一橋講堂会議室/学術総合センター 国立情報学研究所 12F 会議室

(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2) *東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8出口 徒歩3分

主催：一般社団法人 情報処理学会

協賛：一般社団法人情報サービス産業協会、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会、一般社団法人電子情報技術産業協会、
先端 IT 活用推進コンソーシアム、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人日本ソフトウェア科学会

後援：文部科学省、総務省、経済産業省、独立行政法人情報処理推進機構

今日、インターネット上のデータは言うに及ばず、携帯電話、IC カード等の個人生活に必須なデジタル機器から商業活動、交通、電気、水道、ガスなど社会基盤も含め、我々の社会活動と連動して膨大なデジタルデータが生み出されています。大震災時の教訓からも分かるように、これらの多種多様かつ膨大なデータを基に、即時の分析、適時に価値ある情報の生成が強く望まれています。今年の3月には米国政府にて「Big Data Initiative」が謳われ、膨大なデータの管理技術、先端分析処理技術の開発、データから生み出される新たな科学的知見や社会への還元、さらにはビッグデータに対応できる人材育成などが推進されています。あらゆる人の営みがグローバル化するなか、「ビッグデータの潮流」は大きく広がっています。

企業においても情報(データ)の価値はますます高まり、蓄積されたデータから従来の利用に加え、異なる視点からの活用、それを基にした様々なビジネスへの展開が望まれています。また、ソーシャルコンピューティング、クラウドコンピューティングに見られるように、ビッグデータ時代のデータ利活用はデータ資源を共有することで新たな価値を生み出す可能性を秘めています。

ソフトウェアジャパン 2013 では、ビッグデータの世界的潮流と日本におけるこれからの動向に焦点をあて、当会の連続セミナー「ビッグデータとスマート社会」、実務家向けに季刊で発行している「デジタルプラクティス」誌の特集「ビッグデータに備える(2013年1月発行予定)」と連携し、ビッグデータの課題と実情を議論していきます。

■参加費	午後メインセッション	1. 情報処理学会正会員・賛助会員	5,000 円
		2. 関連学協会・協賛団体の正会員・賛助法人会員	7,000 円
		3. 上記 1.、2.以外の一般参加者	10,000 円
		4. 学生 一律	1,000 円
	午前 IT フォーラムセッション	不問	無料

■参加申込：標記の Web サイトから事前申込をお願いします。

■参加申込〆切：2013年2月8日(金) *メインセッション、IT フォーラムセッションとも定員になり次第〆切

■問合せ先：情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigy@ipsj.or.jp

■メインセッション プログラム (13:00~18:30) [会場：2F 一橋講堂]

13:00-13:05 Opening	
13:05-16:20 第1セッション:キーンोट セッション	
13:05-13:50	招待講演(1): ビッグデータの深層 喜連川 優 (東京大学 生産技術研究所 教授)
13:55-14:40	招待講演(2): “Join & Share”で創るこれからの天気予報 石橋 知博 (ウェザーニューズ 取締役(アメリカ販売統括主責任者、BtoS 事業全般))
14:45-15:30	招待講演(3): ビッグデータのハイパーカーブに見えるもの: 音声対話と大規模人口動態推定を例として 栄藤 稔 (NTTドコモ 執行役員 研究開発推進部 部長/DOCOMO Innovations(米国パロアルト)社長)
15:35-16:20	招待講演(4): BIG DATA or DEEP DATA 前田 泰宏 (経済産業省 製造産業局 自動車課 課長)
16:30-17:40 第2セッション:パネルセッション「ビッグデータ時代の挑戦 ~新しい価値と産業創成に向けて~」	
司 会: 岩野 和生 (ソフトウェアジャパンプログラム委員会 委員長/三菱商事 ビジネスサービス部門 顧問) パネリスト: 石橋 知博 (ウェザーニューズ 取締役(アメリカ販売統括主責任者、BtoS 事業全般)) 栄藤 稔 (NTTドコモ 執行役員 研究開発推進部 部長/DOCOMO Innovations(米国パロアルト)社長) 前田 泰宏 (経済産業省 製造産業局 自動車課 課長) 樋口知之 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所 所長)	
17:50-18:25 第3セッション:ソフトウェアジャパンアワードセレモニー	
17:50-17:55	ソフトウェアジャパンアワード 表彰式
17:55-18:10	受賞スピーチ(1): 調整中
18:10-18:25	受賞スピーチ(2): 調整中
18:25-18:30 Closing	
18:40-20:15 情報交換会(懇親会) デジタルプラクティスアワード表彰式	

■ ITフォーラムセッション

<p>サービスサイエンスフォーラム × JUAS 日本情報システム・ユーザー協会 × JST 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 「サービスサイエンスの勤所～お客様は誰ですか、そのお客様の期待は何ですか～」 セッション時間:9:30-12:00 / 会場 1F 特別会議室 101-103 一体</p> <p>【セッション概要】今年もサービスサイエンスフォーラムは、「JST 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター」と「JUAS 日本情報システム・ユーザー協会」との合同開催です。世の中のサービスを観察すると、サービス内容には知恵を絞り改善が進んでいますが、「お客様は誰なのか」は、あまり議論がなされていません。サービスに対するお客様の期待は千差万別なのに、すべてのお客様にハイレベルな一律サービスを提供して満足してもらおうとしているのが実態です。本セッションでは、サービスのもっとも大切な要素であるお客様についての議論を深めたいと思います。</p>
<p>コンタクトセンターフォーラム セッション時間:9:35-12:00 / 会場 2F 中会議場 3 「経営に貢献するコンタクトセンター～経営視点と従業員視点の双方向からのあるべき姿とは?～」</p> <p>【セッション概要】デフレ状況が続き、企業の成長が厳しい環境下において、コンタクトセンターは現在でも、コスト削減の対象部門となり、サービスレベルの低下や要員減員の状況となっているセンターが多い。コンタクトセンターが常にコスト削減対象となるのは、企業内においてコンタクトセンターの経営貢献度合いが明確でなく、また、顧客対応の最前線と言われながらも、重要な機能として認識されていないためである。当セッションでは、コンタクトセンターが経営貢献を実現するためのポイント(講演1)と従業員の価値観が多様化する中、従業員満足度と経営的貢献とをいかに整合させるか? (講演2)について事例を交えてご紹介し、経営貢献について、経営視点と従業員視点の双方向からそのあるべき姿について広範な議論を展開する(パネル・ディスカッション)。</p>
<p>IT ダイバーシティ フォーラム セッション時間:9:30-12:00(予定) / 会場 2F 中会議場 4 「IT makes us happy!～ITで楽しくしなやかに生きる!～」</p> <p>【セッション概要】ITは重要な社会インフラであることは疑いようがありません。昨今は、システムが大規模化し、複雑化し、セキュリティ、業務継続性、運用保守性などの側面が重要視されています。ITを用いて、安心・安全で信頼性の高い社会の実現につなげるのは、情報処理学会の使命であり、情報処理の技術者が取り組むべき事柄です。しかし、取り組む一人一人のモチベーションが下がったままでは使命達成も加速しません。私たちが楽しくいきいきとチャレンジできることが重要だと考えます。本セッションでは、ITを通じたビジネスやサービス提供にかかわる方々にご登壇いただき、ITは人と人をつなげ、生活を豊かにしてくれる手段であることを再認識し、私たちが毎日をいきいきとしなやかに生きるためのヒントについて考えてみます。</p>
<p>高度 IT 人材育成フォーラム セッション時間:10:00-12:00 / 会場 2F 中会議場 2 「情報システムユーザーの期待に応える高度 IT 資格制度の創設に向けて」</p> <p>【セッション概要】IT(情報技術)は社会的なインフラとして、またビジネスモデルや業務を革新するツールとして重要性を高めている。これらを支える高度な人材を育成するためには、人材像を明確にするとともに、高い能力を持った人材を適切に評価・処遇する必要がある。情報処理学会は、高度な情報系人材の能力を評価するための「物差し」として、ITスキル標準や国際的な通用性も考慮した高度 IT 資格制度「情報処理学会モデル」を提案した。本シンポジウムでは、主に情報システムユーザーの視点から高度 IT 資格制度に対する期待および期待を満たすための方策について議論を行う。</p>
<p>AITC 先端 IT 活用推進コンソーシアム セッション時間:9:30-12:00 / 会場 12F 国立情報学研究所 1210 会議室 「ビッグデータが導く「知識から行動へ」実証プロジェクトのご紹介」</p> <p>【セッション概要】先端 IT 活用推進コンソーシアム(AITC)では 5 部会が連携し、「Project LA(Leads to Action)」に取り組んでいます。Project LA では収集した情報を知識化し、行動を促すシステム「System LA」として、クラウド基盤上のビッグデータに人々が意味付けし、System LA が機械的に構造化・解析することで個人化した知識を提示し、一人ひとりの行動が促されることを目指しています。本日は、プロトタイプを含めて「Project LA」についてご紹介いたします。</p>
<p>IPA/SEC 情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター セッション時間:9:30-12:00 / 会場 2F 中会議場 1 「データに基づくソフトウェア開発・運用マネジメント」</p> <p>【セッション概要】信頼性の高いソフトウェアを効率よく開発し、安心して使い続けられるように運用するためには、開発や運用に付随する様々なデータを収集し、それらの分析結果を適切にフィードバックすることが重要です。具体的には、(1)進捗状況のモニタリングによる、異常の予兆検知と早期対応、(2)現在のデータと過去の蓄積データとの比較による、適切な計画策定及び現況の妥当性確認、(3)ソフトウェア開発・運用リポジトリに蓄積される定性・定量データのマイニングによる、有用な知見の抽出、が挙げられます。本セッションでは、このようなデータに基づくソフトウェア開発・運用のマネジメントに関し、IPA/SEC における取組みと成果、及びソフトウェアリポジトリマイニングに関する内外の取組み動向等について紹介いたします。</p>
<p>JISA 情報サービス産業協会 セッション時間:9:30-12:00 / 会場 2F 会議室 201-203 一体 「プロジェクト健全化への提案」</p> <p>【セッション概要】情報システム開発のプロジェクト運営、技術力向上に資するため、JISA(一般社団法人情報サービス産業協会)が独自に開発した「プロジェクト健全性評価指標」と、国内規格化に取り組んでいる ISO/IEC 29110 「小規模組織のソフトウェアライフサイクル」を紹介する。</p>
<p>JEITA 電子情報技術産業協会 セッション時間:9:30-12:00 / 会場 12F 国立情報学研究所 1208 会議室 「ICT が実現する近未来のワークスタイル」</p> <p>【セッション概要】ユビキタス/モバイルによる企業内ワークスタイルの革新が進む一方、ソーシャルメディアを主なワークプレイスとした個人(フリーランス)の増加によって「働き方」のあり方が大きく変容しつつある。本セッションでは、企業と個人の視点から、ビジネスにおける ICT を駆使したコミュニケーション環境について議論する。また、ICT の進化に伴い時と場所を選ばずに仕事をする機会が増えていることを受け、企業と個人のワークプレイスの融合も視野に入れた近未来のワークスタイルを提言する。</p>
<p>ユニバーサルデザイン協創フォーラム【展示】 展示時間:13:00-18:30 / 会場 2F 一橋講堂前 「見えなくても中身がわかる!! パーコードを用いた視覚障害者向け商品案内」</p> <p>【セッション概要】相方が仕事のあいだ留守番しているとき、あるいはひとり暮らしの方、下宿している学生さん! まとめ買ってきた商品や、棚の奥にしまっていた缶詰め、いままさに空けようとしているペットボトルの中身、インスタントラーメンの味が、空ける前になんとかかわかったら、生活が楽しくなると思いませんか。パーコードを読み取って、視覚に障害のある人に音声で知らせるプロジェクトをはじめ、と聞いたら、「どこにパーコードが印刷されているかわからないだろうから、ひとりで読むのは無理じゃない?」と思いますよね。会場にデモソフトを用意していますので、視覚に障害のある方もない方もぜひいらして体験してみてください。また、腕に自信のある方、ぜひフォーラムに参加して、ソフト開発にご協力ください。</p>

情報処理学会第75回全国大会イベント企画のみ聴講参加「無料」!!
事前予約申込はこちらから⇒<http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/>

第75回全国大会 聴講参加・講演論文集事前予約の御案内

『ここから始まる情報社会の未来』

大会会期：2013年3月6日（水）～8日（金）
 大会会場：東北大学 川内キャンパス（宮城県仙台市青葉区川内41）
 共催：東北大学大学院情報科学研究科
 後援：東北大学/仙台市/仙台観光コンベンション協会

情報処理学会第75回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集DVD-ROM・冊子」ならびに「懇親会参加」の事前予約申込受付を開始いたします。今回の全国大会では、**第1～4イベント会場において開催される招待講演企画、イベント企画のみを聴講希望の場合には、大会聴講参加費を会員・非会員、一般・学生を問わず全て「無料」とさせていただきます。**

イベント企画のみ聴講希望の方は、大会Webページから事前予約申込みを頂く際「大会イベント企画限定聴講参加」の方にお申込みください。通常の一般セッション・学生セッションも聴講希望の場合には、聴講参加費は「有料」となりますので、「大会共通聴講参加」の方にお申込みください。

皆様どうぞお問い合わせのうえお申込みください。

事前予約申込受付期間：2012年12月10日～2013年2月15日（〆切 19：00）

招待講演企画【聴講参加無料】：招待講演5件を予定しております。

招待講演-1	6日(水)13:40-14:10 第1イベント会場[マルチメディア教育研究棟 2F M206] 「Crowdsourcing, Social Computing and the New Methods of Computer Science」 David Alan Grier (IEEE Computer Society President)
招待講演-2	6日(水)14:15-15:15 第1イベント会場[マルチメディア教育研究棟 2F M206] 「人とアンドロイドとメディア」 石黒 浩 (大阪大学 基礎工学研究科システム創成専攻 教授 / ATR石黒浩特別研究室 室長)
招待講演-3	7日(木)13:10-13:50 第1イベント会場[マルチメディア教育研究棟 2F M206] 「災害に強い無線通信ネットワークを目指して」 安達 文幸 (東北大学 大学院工学研究科通信工学専攻 教授)
招待講演-4	7日(木)13:50-14:30 第1イベント会場[マルチメディア教育研究棟 2F M206] 「地震防災におけるビッグデータ」 青井 真 (独立行政法人防災科学技術研究所 地震・火山観測データセンター センター長)
招待講演-5	8日(金)13:00-14:00 第1イベント会場[マルチメディア教育研究棟 2F M206] 「スマート・エイジング ～脳機能解析学が拓く新しい超高齢社会～」 川島 隆太 (東北大学 加齢医学研究所 教授)

イベント企画【聴講参加無料】：各イベント企画では、その分野の最前線で活躍されておられる方をお招きし講演、パネル討論等の開催を予定しております。

第1イベント会場 マルチメディア 教育研究棟 2F M206	6日 9:30-12:00 「安全・安心を守るためのRT（ロボット技術）、ICT（情報通信技術）」
	6日 13:00-13:35 「大会挨拶・各種表彰式・情報技術遺産認定式」
	6日 13:40-14:10 「招待講演-1 David Alan Grier (IEEE-CS)」
	6日 14:15-15:15 「招待講演-2 石黒 浩 (大阪大学)」
	6日 15:30-18:00 「ニコニコ学会β：研究してみたマッドネス特選集」
	7日 9:30-12:00 「ライフラインを支えるICT基盤の高度化に向けて」
	7日 13:00-17:15 「『情報をライフラインに』シンポジウム」*共催：日本学術会議 情報学委員会 環境知能分科会
	13:10-13:50 「招待講演-3 安達 文幸 (東北大学)」
	13:50-14:30 「招待講演-4 青井 真 (防災科学技術研究所)」
	14:45-15:55 「パネル討論-1 震災時の情報伝達を振り返る」
16:05-17:15 「パネル討論-2 情報ライフライン化の技術」	
8日 9:30-12:00 「新しい情報社会を支えるセキュリティとプライバシー保護」	
8日 13:00-14:00 「招待講演-5 川島 隆太 (東北大学)」	
8日 14:15-16:45 「ビッグデータを支えるクラウド基盤」	
第2イベント会場 A棟 2F A200	6日 9:30-12:00 「行動をデザインする！～人の行動を促す人間-環境インタラクションデザイン～」
	6日 15:30-18:00 「東北からはじまるITグローバルビジョン～東北の魅力をグローバルにつなげる～」
	7日 9:30-12:00 「論文必勝法～基礎から一流誌・会議採録まで～」
	7日 14:45-17:15 「最適化の巧みな利用手法」
	8日 9:30-12:00 「災害に強い情報通信ネットワークの実現に向けて」
	8日 14:15-16:35 「人間調和型情報社会構築に向けた人間行動理解の技術～視覚的顕著性評価関連技術を中心に～」

第3 イベント会場 B棟 2F B200	6日 10:00-12:00 ～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」 6日 15:30-17:30 「改正著作権法について」 7日 9:30-12:00 「できるのか？高大連携情報教育」 7日 14:45-17:15 「デジタルコンテンツ研究のススメ」 8日 9:30-12:00 「コンピュータグラフィックスの新展開」 8日 14:15-16:45 「ICTの英知を総動員して減災に取り組み！」
第4 イベント会場 C棟 2F C200	6日 9:30-12:00 「大学教育と産業界での人材育成の連続化に向けて ～企業が求める大学教育と産学連携による高度IT人材育成の課題をどう解決するか～」 6日 15:30-18:00 「大学教育と産業界での人材育成の連続化に向けて ～情報専門教育、カリキュラム標準、資格制度、スキル標準の有機的連携～」 7日 10:00-12:00 「若手研究者問題と情報系 ～日本学術会議若手アカデミー委員会企画パネル討論～」 8日 9:30-12:00 「データセンタにおけるグリーンITの取り組み」 8日 14:15-16:45 「安全・安心な暮らしを支えるハイパフォーマンスコンピューティング ～防災・減災に向けて～」

一般セッション・学生セッション【聴講参加 有料】:

約1,300件の研究成果発表があります。大会3日間でおおよそ30会場を使用して、190あまりのセッションが生まれ、活発な発表、議論・討論が行われます。

懇親会【有料】:

毎回多数の方にご参加をいただき親睦を深めております。

開催日時: 2013年3月6日(水) 18:30～20:30 (予定)

開催会場: 東北大学 川内キャンパス 百周年記念会館 (川内萩ホール) 2F 会議室 (予定)

■聴講参加費・講演論文集代・懇親会参加費(税込)

申込種別	予価(2/15迄)	定価
大会イベント企画のみ聴講参加	無料	無料
大会共通聴講参加(正会員)	3,000円	3,000円
大会共通聴講参加(正会員)*DVD-ROM 1枚付き	8,000円	8,000円
大会共通聴講参加(一般非会員)	6,000円	6,000円
大会共通聴講参加(学生会員・非会員問わず)	無料	無料
懇親会参加 一般(正会員・一般非会員)	4,000円	5,000円
懇親会参加 学生(学生会員・学生非会員)	2,000円	3,000円
講演論文集分冊(個人・法人問わず)	12,000円	13,000円
講演論文集セット *DVD-ROM 1枚付(個人・法人問わず)	57,000円	61,000円
講演論文集DVD-ROM(個人)	8,000円	8,000円
講演論文集DVD-ROM(法人)	55,000円	55,000円
送料	セットおよびセット冊数以下	800円
	セット冊数以上	1,000円
	DVD-ROM 1枚につき	500円

■留意事項

※「大会イベント企画のみ聴講参加」は、招待講演企画・イベント企画(大会第1～4イベント会場で行われるイベント企画)・各種展示のみ聴講参加可能です。一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。

一般セッション・学生セッションも聴講参加希望の場合には、大会共通聴講参加(有料)の方にお申込みください。

※「大会共通聴講参加」は、一般セッション・学生セッションを含む大会全てのセッションの聴講参加が可能です。

※DVDは学生限定・大会会場限定で学会会場販売(4,000円)いたします。

※講演論文集、DVD-ROM共に、大会開催前の事前発送は致していません。

受取りは当日会場受取りか大会終了後の郵送となります。

※講演論文集またはDVD-ROMを郵便で受け取る場合には別途送料がかかります。

情報処理学会 第75回全国大会ワークショップ『減災・復興と情報ライフライン』のご案内

第75回全国大会では、2011年3月11日に甚大な被害をもたらした東日本大震災の被災地となった宮城県での開催にあたり、記憶も新しい東日本大震災の被災状況、現場を見学し、また被災体験をされた方々からのお話を伺い、今後の情報ライフラインを考えるためのワークショップを実施いたします。是非、この機会に本ワークショップへのご参加を頂ければ幸いです。

申込/詳細: <http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/ws/workshop.html>

開催日: 2013年3月5日(火) ※時間はそれぞれのコースにより異なります

ワークショップコース: 石巻コース、名取コース

ワークショップ定員: 各コースとも申込先着45名

ワークショップ参加費: 正会員(情報処理): 7,000円 / 一般非会員: 10,000円

学生会員(情報処理): 4,000円 / 学生非会員: 6,000円

ワークショップ参加条件: 第75回全国大会の参加者(一般または学生セッションの講演者または聴講参加者)

■問合先

〒101-0062東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F

一般社団法人情報処理学会 事業部門 電話 (03) 3518-8373, FAX (03) 3518-8375, e-mail: jigyo@ipsj.or.jp

ご意見をお寄せください！

【1月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高专など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高专など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2013年1月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：防災ロボット活用元年 10-1- []
- 特集：人間中心設計
1. なぜ使いにくい情報システムが生まれるのか？ 10-2- []
2. 標準化動向 10-3- []
3. 使いやすいシステムの効率的な開発に向けて 10-4- []
4. システム開発の効率化とデザイン品質の向上 10-5- []
5. ユーザエクスペリエンスデザインの実践 10-6- []
6. ユニバーサルデザイン 10-7- []
7. 医療情報システムへの適用事例 10-8- []
- べた語義：「情報処理学会 会員の力を社会につなげる研究グループ」の活動 10-9- []
- べた語義：「情報を『処理』する学習」への問い直しは成立するのか？ 10-10- []
- べた語義：ゲームを題材にした情報科学授業の事例報告 10-11- []
- IT好き放題：日本学術会議を知っていますか？ 10-12- []
- 古機巡礼/二進伝心：オーラルヒストリー：山本卓真氏インタビュー 10-13- []
- IT先生、エジプトでITを教える：E-JUSTはこれからどうなる？ 10-14- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- 〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

[13-1] 人間中心設計：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 論文誌 (デジタルプラクティス), 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション), 国際会議, IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

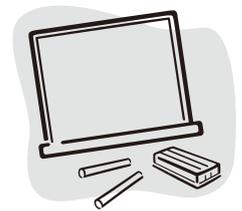
若い頃から人間工学、ヒューマンインタフェース関連にどっぷりと浸かっていた私としては、今回の特集企画の話を読んだときには正直違和感を持ってしまいました。情報処理学会の中で人間中心設計？ 人とコンピュータの共生と口では言っている、「人とコンピュータは相容れない」と、自分の中のどこかでバリアを張っていたのかもしれませんが。でも、思い直して、ひょっとして世の中が私の思い描いていた方向に変わってきたのかも？と大胆な発想をし、これはチャンスとばかりに企画書を作成し、多くのヒューマンインタフェース関連の方に執筆をお願いしてきました。残念ながら業務の都合等で断念せざるを得なかった方も含め、皆様に賛同いただくことができ、素晴らしい特集に仕上がりました。

所属する組織が違えば、用語の使い方や解釈も異なり調整に手間取ったところもありますが、使いやすいものを作ろう、作れるようにしようという思いは、皆様同じでした。

やはり、世の中のシステム、製品、サービスは、ほとんどは人間が使うものなので、その主役である人間を中心に考えるのは当然のことです。ただ、あまりにも当たり前のことのために、逆に忘れがちになってしまうのかもしれませんが。そのようなことに対して、今回の特集が多くの方の何らかの気付きにつながれば幸いです。

最後に、ご多忙にもかかわらず原稿作成を引き受けていただいた執筆者の皆様、企画に際し数々のアドバイスとご指摘をいただいた編集委員の皆様、最後まで編集にご尽力いただいた事務局の皆様がこの場を借りて深謝申し上げます。

(福住伸一／本特集ゲストエディタ)



次号 (2月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 デジタルファブリケーション

形状モデリングのための新しいインタラクション／設計感度解析を用いた対話的な設計と数値解析の融合—機能的かつ創造的な設計の支援を目指して—／デジタルデザイン技術を活用した工作と手芸／折紙ファブリケーションとコンピューテーション／パーソナルファブリケーション時代におけるものづくりのオープンソース化の動向と FabCommons の提案／デジタルヒューマンによる人間中心設計支援／建築におけるコンピューテーショナルデザイン／トポロジー最適化による構造創成設計

解 説：身近となったライフログ～記憶を記録して記録から記憶を呼び覚ますライフログ～……………中村聡史
スーパークリエイター紹介 (仮) ………………竹内郁雄

教育コーナー：ぺた語義

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 150 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実役に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」54巻1号 掲載広告（五十音順）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> インタフェース …………… 表2 | <input type="checkbox"/> 東京理科大学…………… 前付最終上 |
| <input type="checkbox"/> エクセルソフト …………… 同封 | <input type="checkbox"/> ぷらっとホーム …………… 表4 |
| <input type="checkbox"/> オーム社…………… 表2対向 | <input type="checkbox"/> 三菱電機インフォメーションテクノロジー …… 表3 |
| <input type="checkbox"/> サイエンス社…………… 目次前 | <input type="checkbox"/> 三菱東京UFJ銀行 …………… 同封 |
- すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20～50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)

Google™

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

NTT docomo

(株) NTTドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft®

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

NTT Data

NTT データ (株)



NTTコムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)



ぶらっとホーム (株)

●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー (株)



三協印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



(株) ナレッジクリエーション
テクノロジー



日本放送協会
放送技術研究所



(株) 日立システムズ

インテル (株)

【A～Z】

(株) ATR-Trek
 (株) CIJ
 (株) CSP フロンティア研究所
 (株) HBA
 (株) IT 働楽研究所
 JRC エンジニアリング(株)
 (株) JTB 法人東京 法人営業川崎支店
 (株) KDDI 研究所
 MHI エアロスペースシステムズ(株)
 NEC システムテクノロジー (株)
 (株) NEC 情報システムズ
 NEC ソフト(株)
 NEC ソフトウェア東北(株)
 NEC フィールドディング(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コムウェア(株)
 NTT ソフトウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ・アイ
 (株) NTT データ CCS
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 (株) NTT ドコモ
 NTT 横須賀研究開発センタ
 (株) OKI ソフトウェア
 (株) PFU
 SCSK (株)
 TDC ソフトウェアエンジニアリング(株)
 TIS (株)

【あ行】

アートシステム(株)
 (株) アールティ
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ビー
 アイシン・インフォテックス(株)
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 (株) アイロベックス
 アドコム・メディア(株)
 (株) アドバンス トラフィック システムズ
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 岩崎通信機(株)
 (株) インテック
 インテル(株)
 インフォサイエンス(株)
 (株) ヴァル研究所
 ヴィスコ・テクノロジーズ(株)
 (株) うえじま企画
 (株) エクサ

エクセルソフト(株)
 (株) エス・エフ・シー
 (株) エスケーエレクトロニクス
 エヌ・ディー・アール(株)
 (株) エルザジャパン
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株)

【か行】

(独) 科学技術振興機構
 (公財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校
 (学) 片柳学園日本工学院八王子専門学校
 関電システムソリューションズ(株)
 (一財) 機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 技術資料センター
 キヤノン IT ソリューションズ(株)
 キヤノンソフトウェア(株)
 (財) 九州先端科学技術研究所
 共立出版(株)
 (株) 近代科学社
 グーグル(株)
 グリー(株)
 原電情報システム(株)
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 国士舘大学
 (独) 国立印刷局研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタテクノロジーセンター(株)

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 三美印刷(株)
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報システム
 システム・オートメーション(株)
 実教出版(株)
 シャープ(株)
 (株) ジャステック
 (株) ジャストシステム
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (株) 情報科学センター
 (一社) 情報サービス産業協会
 (独) 情報処理推進機構
 (独) 情報通信研究機構

新日鉄ソリューションズ(株)
 (株) ステラジアン
 住友電気工業(株)
 成城大学メディアネットワークセンター
 (株) セガ
 (株) セカンドセクション
 セコム(株)
 ソニー(株)
 ソニーグローバルソリューションズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (一財) ソフトウェア情報センター
 フトウェア特許情報センター

【た行】

拓殖大学
 中国電力(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (公財) 鉄道総合技術研究所
 (社) 電子情報技術産業協会
 (株) 電盛社
 (株) デンソー
 (株) デンソーアイティエーラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (株) 電通国際情報サービス
 (一財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 (株) 東芝
 東芝インフォメーションシステムズ(株)
 東芝システムテクノロジー(株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝テック(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 (株) 東和システム
 トーヨー企画(株)
 特許庁
 トップパン・フォームズ(株)
 (株) トヨタコミュニケーションシステム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所
 (株) トヨタデジタルクルーズ
 (株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテクノロジー
 (株) ニコンシステム
 日鉄日立システムエンジニアリング

(株)
 日本アルゴリズム(株)
 (株) 日本情報システムサービス
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許技術情報センター
 日本アイ・ピー・エム(株)
 (社) 日本化学会
 日本銀行
 日本原子力研究開発機構
 日本証券テクノロジー(株)
 (一財) 日本情報経済社会推進協会
 (一社) 日本情報システム・ユーザー協会
 日本信号(株)
 日本電子計算(株)
 日本電信電話(株)
 (一財) 日本品質保証機構
 日本放送協会 放送技術研究所
 日本マイクロソフト(株)
 日本無線(株)
 日本ユニシス(株)
 (株) 日本旅行
 (株) 野村総合研究所

【は行】

(株) ハイエレコン
 パイオニア(株)
 萩原電気(株)
 (有) バクサリー
 パナソニック(株)
 パナソニック(株) AVC ネットワーク社
 パナソニック(株) エコソリューションズ社
 パナソニック MCE (株)
 パナソニック システムネットワークス(株)
 パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株)
 (株) ハビネット
 (株) ビーコン インフォメーションテクノロジー
 日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)
 (株) 日立アドバンスデジタル
 (株) 日立国際電気
 (株) 日立システムズ
 (株) 日立情報制御ソリューションズ
 (株) 日立製作所 情報・通信システム社
 (株) 日立製作所 中央研究所
 (株) 日立製作所 中国支社
 (株) 日立製作所 東北支社
 (株) 日立製作所 横浜研究所
 (株) 日立ソリューションズ
 (株) 日立中国ソリューションズ
 (株) 日立テクニカルコミュニケーションズ
 (株) 日立東日本ソリューションズ

日立ビジネスソリューション(株)
 (株)ファースト
 (株)フォーカスシステムズ
 (株)フォーラムエイト
 (株)福岡CSK
 (株)フジキカイ 名古屋工場
 富士通(株)
 (株)富士通アドバンスエンジニアリング
 (株)富士通エフサス
 (株)富士通九州システムズ
 (株)富士通ソーシャルサイエンス
 ラボラトリ
 (株)富士通長野システムエンジニアリング
 (株)富士通北陸システムズ
 フジテック(株)
 富士電機システムズ(株)

富士フィルム(株)
 船井電機(株)
 フューチャーアーキテクト(株)
 ブラザー工業(株)
 ぶらっとホーム(株)
 古野電気(株)
 ペンギンシステム(株)
 北陸電力(株)
 (株)堀場製作所
 (株)本田技術研究所基礎技術研究センター

【ま行】

マツダ(株)
 三井情報(株)
 (株)ミックナイン
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)

三菱スペース・ソフトウェア(株)
 三菱電機(株)
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
 三菱電機コントロールソフトウェア(株)
 三菱電機コントロールソフトウェア(株)伊丹事業所
 三菱電機情報ネットワーク(株)
 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)
 (株)三菱東京UFJ銀行
 三菱プレジジョン(株)
 武蔵野美術大学
 (株)メイテツコム

【や行】

ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所
 ヤマハ(株)
 横河電機(株)

【ら行】

楽天(株)
 リードエグジビションジャパン(株)
 (株)リコー
 (株)リナックス総合研究所
 (株)リンクレア

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公財)と省略した。



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!

申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率(正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先: 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375